

## 研究活動報告

### 日本人口学会東日本地域部会 2005年度第1回

日本人口学会の2005年度第1回東日本地域部会が2005年11月12日、北海道東海大学札幌キャンパス(北海道札幌市)にて開催された。報告タイトルと発表者は下記の通りである。

1. 「地域出生力指標に関する新たな試み：夫婦出生力に注目して」  
山内昌和 (国立社会保障・人口問題研究所)
2. 「都道府県別世帯数の将来推計：手法と結果について」  
小山泰代・西岡八郎・鈴木透・山内昌和 (国立社会保障・人口問題研究所)
3. 「年齢別出生率・年齢別順位別出生率の時系列変化：サーモグラフ化による分析の試み」  
原俊彦 (北海道東海大学)

1は、地域出生力分析への適用を念頭においた出生力指標の提起とその利用可能性という観点から、Child-Woman Ratioを応用した間接標準化指標の定性的・定量的な検討の結果が報告された。2は、社人研が実施した「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計) - 2005年8月推計 -」に関する内容であり、推計方法の考え方を中心に、結果の概要を含めた報告がなされた。また、北海道での開催ということで、北海道の推計結果についても特別な言及があった。3は、サーモグラフを応用した表現方法を用いた出生力・婚姻力の分析であり、日本をはじめ、欧州各国の長期時系列データを活用した報告がなされた。これら3報告は、いずれも地域部会の特性(報告時間が長い)を活かした丁寧なプレゼンテーションであり、活発な議論が交わされた。(山内昌和記)

### 2005年度統計関連学会連合大会

2005年9月12日~15日、広島プリンスホテルにおいて2005年度統計関連学会連合大会が開催された。これは2002年度より、日本統計学会、応用統計学会、日本計量生物学会の連合大会として開催されている大会である。今次大会には延べ729名が参加し、活発に報告が行われたが、当研究所や人口に関連する報告としては、

「国民生活基礎調査所得分布推定における各種推定量の検討」

石井太 (国立社会保障・人口問題研究所)  
村山令二・關雅夫 (厚生労働省)  
西郷浩 (早稲田大学)  
樋田勉 (群馬大学)

「二相抽出法におけるブートストラップ法」

西郷浩 (早稲田大学)  
樋田勉 (群馬大学)  
石井太 (国立社会保障・人口問題研究所)  
關雅夫 (厚生労働省)